

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	子ども家庭局子ども家庭部保育課
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日

1 指定概要

施設概要	名称	北九州市立第1緑地保育センター(おひさまのいえ) 北九州市立第2緑地保育センター (もりのいえ)	施設類型	目的・機能
	所在地	北九州市若松区大字竹並町925番地の1 北九州市小倉南区長野530番地の3	I	— ⑦
	設置目的	豊かな自然環境の中で、児童に健全な遊びを与えて保育し、その心身の健全な発達を図ることを目的とする。		
利用料金制		<input type="checkbox"/> 非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制 <input type="checkbox"/> インセンティブ制 有・ <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ペナルティ制 有・ <input type="checkbox"/> 無		
指定管理者	名称	社会福祉法人 北九州市福祉事業団		
	所在地	北九州市八幡東区中央二丁目1番1号		
指定管理業務の内容		【第1・第2共通】 ・施設の運営と管理 ・宿泊保育事業 ・日帰り保育事業 ・親子宿泊事業 ・子育てグループサポート事業 ・出前講演事業 ・ファミリーレクリエーション事業 【第2のみ】 ・ホタル育成事業		
指定期間		平成31年4月1日～令和6年3月31日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	配点	評価	得点
---------------	----	----	----

		レベル	
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み	50		43
(1) 施設の設置目的の達成			
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。			
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。	35	4	28
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。			
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。			
[評価の理由、要因・原因分析]			
① 指定管理業務の実施状況			
■両施設共通			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所や幼稚園等には、施設の使用を促す日帰り保育や宿泊保育の案内を、10月や年度末に郵送し、利用者数増に努めている。 ・ また、利用団体に対して、施設周辺の動植物の紹介や遊び方、行事のお知らせ等を定期発信（紙配付）することで、施設への親しみを持ってもらい、継続利用につなげるための取組みを行っている。 ・ 施設利用後は、利用団体から届いた児童作成の作品を館内に掲示し、お礼状を送付したり、卒園の時期になると、宿泊利用団体の卒園児宛にお祝いの言葉を送るなど、関わりを持った児童との交流を大切にすることで、保育の一端を担う取組みを行っている。 ・ 一般開放デーを実施するに当たっては、近隣の施設へチラシを直接持参し、PRに努めた結果、多くの来場者を確保することができ、宿泊保育や日帰り保育等イベントに参加した経験のない保護者の方々に大変喜ばれている。 ・ 出前講演については、宿泊保育の受入れが少ない12月～3月の期間に、クリスマスや節分等にあわせた内容とし、積極的なPR活動を展開することで、数値目標を大幅に上回る実績を挙げている。 ・ 日帰り保育、親子宿泊、ファミリーレクリエーションについては、HPや市政だよりでの案内はもちろんのこと、参加募集チラシを作成し、直接、保育所等に持参し説明、配付するなどの工夫を図った。最近では、保育所等の関心度も増し、各種イベントについて、定期的に保護者に案内してくれる保育所等も増えてきている。 ・ 自然や野外活動への知識や理解を深め、子どもたちへの保育に役立ててもらうことを目的として、平成26年度から、利用団体の指導者や引率者等を対象に「緑地セミナー」を継続して実施しており、毎年定員を超える募集があっている。 			
《第1緑地保育センター》			

実施項目	数値目標	事業実施回数	R元実績(a)	目標達成率	H30実績(b)	対H30実績(a/b)
宿泊保育	3,300人	97団体	3,329人	100.9%	3,526人	94.4%
日帰り保育	5,800人	94団体	7,361人	126.9%	7,485人	98.3%
親子宿泊	78人	2回	56人	71.8%	86人	65.1%
子育てグループ支援	180人	12団体	272人	151.1%	245人	111.0%
ファミリーレクリエーション	95人	2回	145人	152.6%	151人	96.0%
出前講演	4,800人	54回	5,506人	114.7%	5,213人	105.6%

※新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、年度末（2月末～3月）は宿泊等の利用を中止

《第2緑地保育センター》

実施項目	数値目標	事業実施回数	R元実績(a)	目標達成率	H30実績(b)	対H30実績(a/b)
宿泊保育	4,500人	140団体	4,984人	110.8%	5,052人	98.7%
日帰り保育	5,500人	75団体	5,175人	94.1%	5,578人	92.8%
親子宿泊	114人	3回	136人	119.3%	139人	97.8%
子育てグループ支援	360人	4回	263人	73.1%	537人	49.0%
ファミリーレクリエーション	200人	2回	536人	268.0%	477人	112.4%
出前講演	500人	17回	1,484人	296.8%	1,075人	138.1%

※新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、年度末（2月末～3月）は宿泊等の利用を中止

- ② 利用促進を目的としている施設ではないため、該当なし。
- ③ 該当なし。
- ④ 施設の性質上、保育所入所等については行政で決定するものであるため、該当なし。

(2) 利用者の満足度

① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	15	5	15
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。			
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。			
⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			

[評価の理由、要因・原因分析]

① 利用者の満足度

- ・利用団体の代表者や保護者を対象に毎年実施しているアンケートでは、両施設ともに「施設の充実度」「サービスの充実度」「プログラムの充実度やPR度」のすべてにおいて「非常に満足」「満足」が99%以上であった。

- ・総合評価においても、両施設ともに「非常に満足」「満足」と回答した割合が100%となっており、利用者の満足度は非常に高い。

《アンケート集計結果（「非常に満足」「満足」の割合）》

※ 回答数（R元）第1緑地：96件／第2緑地：162件

年度	施設区分	施設	サービス	プログラム・PR	総合評価
R元年度	第1緑地	99.6%	99.7%	99.7%	100%
	第2緑地	99.8%	100%	100%	100%
【参考】 H30年度	第1緑地	98.8%	99.9%	100%	100%
	第2緑地	99.9%	100%	100%	100%

※ 太枠囲み箇所が、所見評価対象期間のものを示す。

② 利用者意見への対応、③ 苦情への対応

- ・アンケート中の自由記入欄に記載された内容については、その都度、回答や説明を行うよう努めている。
- ・利用団体を直接訪問し、意見・要望についての聞き取り調査を行うなど、利用者の意見・要望に対して誠意を持って対応するとともに、その把握に努めている。
- ・宿泊保育におけるアンケート結果を参考にしつつ、ハイキング内容やゲーム等の内容を新しくするなど、常に子ども達の興味を引くようなイベントを考えている。
- ・苦情への対応については、「北九州市福祉事業団福祉サービス苦情解決実施要項・事務取扱要領」に基づいて対応することになっているが、苦情等の申し出はなかった。
- ・宿泊保育利用に当たっては、利用1ヶ月前に1回、宿泊中に2回、利用団体の担当者とミーティングを行い、利用者の意見や要望を聞くことで、きめ細かな対応をしている。
- ・また、毎月の指導会議や各事業ごとの反省会議を開き、プログラム内容や指導方法、施設内外の環境改善等を検討し、随時、見直しや改善を行うことでサービスの向上に努めている。

③ 情報提供

- ・ホームページ掲載情報を月1～2回程度更新し、団体利用ができるイベント情報や空き状況などを積極的に発信したり、主な事業の内容を市政だよりに掲載するなど、利用者を募る取組みを展開している。
- ・第2緑地センター周辺の動植物を紹介したマップを作製・配布し、自然や生き物への関心が高まるよう工夫している。

2 効率性の向上等に関する取組み	30		18
(1) 経費の低減等			
① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があった	30	3	18

か。															
② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。															
③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。															
[評価の理由、要因・原因分析] <ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理に係る再委託業務については、法人指定管理者が管理する施設全体をもって、一括して競争入札に付することで経費削減に努めた。 また、館内一部の清掃を職員が行ったり、段階的に各部屋の照明をLED照明へ取り替えるなど、経費削減に努めている。 事務室暖房は、ガスファンヒーターを使用し、灯油の使用料を削減している。 利用者に向け、節電・節水の協力を呼びかける掲示を行っている。 これらの取組みにより、前年度より、光熱水費等の運営経費を削減した。 															
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H30年度 決算額</th> <th>R元年度 決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定管理料</td> <td>81,423 千円</td> <td>86,001 千円</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>81,423 千円</td> <td>86,012 千円</td> </tr> <tr> <td> うち、光熱水費</td> <td>5,070 千円</td> <td>4,513 千円</td> </tr> </tbody> </table>				区 分	H30年度 決算額	R元年度 決算額	指定管理料	81,423 千円	86,001 千円	総事業費	81,423 千円	86,012 千円	うち、光熱水費	5,070 千円	4,513 千円
区 分	H30年度 決算額	R元年度 決算額													
指定管理料	81,423 千円	86,001 千円													
総事業費	81,423 千円	86,012 千円													
うち、光熱水費	5,070 千円	4,513 千円													
(2) 収入の増加															
① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。	—	—	—												
[評価の理由、要因・原因分析] ※ 本施設は利用料金制を取っていないため、該当なし。															
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み	20		16												
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況															
① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。	10	4	8												
② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。															
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。															
[評価の理由、要因・原因分析] <p>① 人員配置</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎年、事業計画に基づき、適正な人員配置及び運営を実施している。 <p>② 職員の資質向上</p> <p>■両施設共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 両施設の指導力、技術力向上を図るため、毎年、交流指導研修を実施している。また毎年2～3回、両施設の連携を図るための合同会議を実施している。 職員の資質向上のため、「保育士研修」「障害児保育研修」「人権研修」「全国野外保育セ 															

ンター連絡協議会」等を受講させている。さらに、職場内での研修報告やO J Tの活用により、指導力及び研修効果のアップに努めている。

③ 地域協働

■第1 緑地保育センター

- ・隣接するグリーンパークと連携し、プログラムに動物とのふれあいを取り入れることでプログラムの多様化を図っている。また、平成27年から、「市立教育センター」の依頼で、「玄海青年の家」の職員と協働して、新規に採用された幼稚園教諭に対し野外活動体験研修を行っている。

■第2 緑地保育センター

- ・施設が位置する長野緑地公園内の清掃活動や防犯活動に取り組み、必要に応じて警察や地域との連携を図っている。
- ・また、全国野外保育センター連絡協議会参加の施設と連絡を取り合い、情報交換をすることで運営に役立てている。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。	10	4	8
② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。			
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。			
④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。			
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。			
⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			

[評価の理由、要因・原因分析]

① 個人情報の保護

- ・利用者の個人情報については、「北九州市福祉事業団個人情報保護規程」に基づき、必要最小限の内容の把握に努め、個人情報データはパスワードで管理、個人情報を含む書類は施錠できる書棚で保管し、不要になった個人情報は速やかにデータ消去及びシュレッダー処分を行うなど、適正に管理している。

② 平等利用、③公平選定

- ・宿泊保育の利用については、抽選により利用日を決定し、ファミリーレクリエーションや親子宿泊についても、市政だよりやホームページで公募したうえで、応募者多数の場合は抽選により利用者を決定している。それ以降の申し込みについても先着順に

するなど、公平性の確保に努めている。

③ 収支状況

- ・収支内容に不適切な点は認められない。

④ 安全対策、⑥ 危機管理体制、⑦ 非常時の対応

- ・安全対策では、「緑地保育センター危機管理・安全対策マニュアル」及び「緑地保育センター安全管理点検項目」に基づき、危険箇所の有無について点検し、利用前の打合せ時や当日の確認を徹底している。
また、幼児にも分かりやすいイラストによる危険箇所の表示を行ったり、利用団体から代表の管理者（「まもるんじゃー」というキャラクター）を選出したりと、安全管理等の意識を高める取組みを行っている。
- ・不測の事態に備え、適切な行動が取れるように、各種避難訓練（火災、地震、不審者侵入時等）を月1回程度実施している。
- ・隔年に1回、両施設合同で救命救急講座を実施している。
- ・設備面については、防犯カメラや防犯灯、不審者対策の防護器具などを設置している。
また、施設内に設置してあるAEDを使用し、職員に対し救命講習を行っている。
- ・「北九州市福祉事業団施設事務局緊急連絡網」を整備し、電話、ファックス、電子メール等により迅速かつ正確に情報を伝達できる体制を確立している。
- ・火災時には、「北九州市福祉事業団災害対策要綱」により、災害対策本部の設置や人員動員体制の整備を行い、施設利用者の生命・財産の保護や建物・設備などの防護を図る体制を確立している。

【総合評価】

合計得点	77	評価ランク	B
[評価の理由]			
<ul style="list-style-type: none">・利用者が市内の保育所・幼稚園の児童等に限定されるため、利用者数増加には限界がある中で、施設稼働率8割以上を確保した点や、現状に満足することなく、利用団体を直接訪問し、意見・要望の把握に積極的に取り組んでいる。 また、利用団体の児童との継続した交流を大切にすることで、保育の一端を担い、さらには次年度の利用につなげる切れ目ない取組みに努めている。・利用者のアンケート結果を参考にしてプログラムの見直しや新たな取り組みを導入し、サービス向上に努めている。・多様な社会福祉施設を運営する法人の人材とノウハウにより、様々な職員研修を実施している。・両施設とも、地域や近隣施設と連携することで施設の魅力向上を図っている。・施設の管理や安全対策、危機管理については、それぞれの目的に応じたマニュアル等を整備しており、適切と判断できる。			
[今後の対応]			

- ・今後も、現状に満足することなく、利用者の意見・要望の把握に努め、利用者の満足度の維持・向上を目指していただきたい。
- ・豊かな自然の中での宿泊体験や集団生活を通して、子どもたちが創造性・自主性・協調性を育めるよう、これまでの経験やノウハウを生かした取組みを行うとともに、利用者アンケート等を踏まえ、プログラム等の改善を工夫していただきたい。

[北九州市指定管理者の評価に関する検討会議における意見]

適正に評価されている。

今後も、市と指定管理者と協同で、市民サービスのより良い向上に向けて連携していただきたい。